

黒埼町商工会青年部長の高橋直義さん(板井2・39歳)は「ミニ工業団地の実現をぜひ」

私自身が工場を経営しているものですから、ミニ工業団地みたいなのをぜひ実現してほしいと思います。いろいろ難しいでしょうが、北部に大型店ができる問題では、大野町商店街の人たちの危機意識の持ち方いかんだと思います。大型店とは違う客層を固定客としてひきつけるようにすれば……。黒埼まつりについては見るものでなく参加できるものにして、昔の祭のように子供たちがその一日を楽しみにして集まってきてくれるようなものにして、子供たちに残してあげたいですね。



卓球サークルたんぼぼの皆さんは「スポーツの盛んな町に。それには指導者が必要では」

私たちのサークルは週1回、北部地区公民館で練習しています。今の町のスポーツは、好きな人が好きな人どうしてやっているだけのようですね。いい指導者が指導してくれば、もっとレベルアップできて、試合なんかでもいい成績がとれて、やりがいもあるようになると思うのですが。でも、私たちみたいに仲間どうして楽しむというのも気楽でいいですけど。スポーツ施設では、やっぱりプールがほしいですね。(写真左から松木征子さん、小林美子さん、桜井由江さん)



# こんな町になつて

あなたと  
町をつなぐ

広報

# くろさき

1991

6

No.333

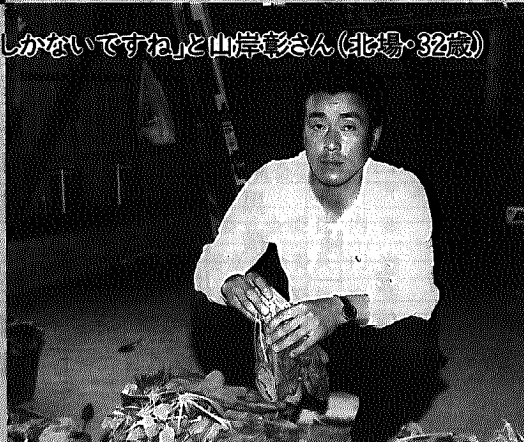
岡田広美さん(山田第3)は「自主活動が盛んになったらいいなあ」と思っています。

今日は黒埼おやこ劇場主催のおやこまつりの実行委員長で、大いそがしです。黒埼は自主活動が盛んでないみたいなので、近所の人たちどうし、あるいは子供を持った親どうしなんかで何かやることが盛んになったらいいなって思っています。私には4歳の子供が1人います。子供を持っているお母さんはだれでもそうと思いますが、子供のために何かしてあげたいと思っているはず。おやこ劇場などで子供が楽しめること、それから自分自身のやりたいことが見つけられればいいですね。



「町の農業の将来？ 自分たちでやっていくしかないですね」と山岸彰さん(北場・32歳)

専業農家として働き始めて13年ほど。将来の町の農業について特に深く考えたことはありません。開発が進めば北場集落と流通センターの間の農地はほとんどなくなることはわかっていますが。今は水稻中心ですが、北場は野菜作りには条件がいいので畑は残したい。将来に対しての不安とは別な不満があります。マスコミでの農業の取り上げ方です。農家の側からの視点が足りないことです。町などに対する要望ですか？ 特にありません。自分たちでやっていくしかないと思いますから。



# ほしいなあ……

町の将来を  
考える